

～就任のご挨拶～

うえ ざわ てつ い

上澤 哲猪 総務金融担当常務

このたびの役員改選にあたり、高西地区総務金融担当常務としてご挨拶を申し上げます。

高西地区は豊かな自然環境の中、四万十では水稻、ミョウガ、ショウガ、ニラ、養豚、津野山ではお茶、しいたけ、甘とう、なすなど多くの有力な品目が産出されています。農業者の所得増大・生産の拡大に向けて信用、共済事業をはじめ、販売や各支所、購買店舗の役割をしっかりと果たし、営農指導や経営支援による地域農業の発展を目標としております。食を守り、協同の心を育み、組合員と地域の皆様のお役に立てる組織となるよう役職員が団結して取り組んで参ります。皆様には今後ともより一層のご支援ご鞭撻ならびにご協力を賜りますようお願い申し上げます。



たけ よし いさお

竹吉 功 経済担当常務

このたびの役員改選にあたり、高西地区 経済担当常務としてご挨拶を申し上げます。

私の出身は、四万十町打井川です。大正町農協・高知はた農協、JA高知県では、営農販売事業本部に在籍し、このたび、高西地区から選出いただきました。行政など関係機関と連携の取れた農業振興を進めてきた高西地区から選出いただいたことに、身の引き締まる思いです。

豊かな自然環境を生かしながら農業振興を進めてきた当管内の取組みは、県下でも優良事例として広く知られているところです。高齢化など農業者の減少は続いておりますが、新規就農を希望する方もしっかりとバックアップし、部会活動を主軸に今後も農業者の経営安定、並びに地域の活性化に取り組んでまいりますので、ご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



令和4年度 高知県立農業大学校 学生募集

未来につなぐ新たな農業の担い手を育む

農業技術や経営についての実践的な研修教育を行い、地域の農業振興に貢献することができる優れた農業の担い手及び指導者の育成を目標としています。

■学科・募集定員

○卒業生には専門士（農業専門課程）の称号が付与されます。



園芸学科	定員	畜産学科	定員
野菜・花き・果樹・6次産業化などについての専門的研修教育	45人	畜産・6次産業化などについての専門的研修教育	5人

■出願期間・試験日

	A 推薦募集	B 一般募集	C 社会人募集
選考方法	①小論文 ②面接試験	①筆記試験 ②面接試験	①小論文 ②面接試験
出願期間	令和3年8月25日（水） ～9月9日（木）	【前期】令和3年11月1日（月）～11月16日（火） 【後期】令和4年1月25日（火）～2月15日（火）	
試験日	令和3年9月24日（金）	【前期】令和3年11月26日（金） 【後期】令和4年3月2日（水）	

※本校についての詳しい内容はホームページをご覧ください。オープンキャンパスも開催します。

お問合せ先 高知県立農業大学校 吾川郡いの町波川234番地 TEL:088-892-3000



手作りパン「山里」

いちかわ なおこ
市川 尚子さん (49)

東津野地区より



丹精込めて作ってます
定休日：月曜日

津野町の道の駅「布施ヶ坂」の一角で手作りパン工房「山里」を営んでいる市川 尚子さん。もともとパンが大好きで平成30年に現在のお店をオープン！約20種類の手作りパンを販売しています。道の駅一画ということもあり県内外からたくさんの方々が訪れます。市川さんは「地域の方々や観光客の方々に喜んでもらえるようなパンを作りたい。パンで人を笑顔にできれば本当に嬉しい」とパン作りに懸ける想いを話してくれました。毎週木曜日には葉山方面、水曜日と金曜日は東津野～橋原方面への移動販売も行っており、役場や農協などの施設へも立ち寄ってくれています。市川さんの「手作りパン」皆さんも是非食べてみてください。愛情の詰まったおいしいパンを食べれば笑顔がこぼれること間違いなしです！

馴れ初めは「運命の出会い」

はしもと けんたろう
橋本 健太郎さん (40)
はしもと ゆき
橋本 由紀さん (41)

興津地区より



興津地区で50アールのミョウガを栽培されている橋本さんご夫妻。

お二人の馴れ初めは、健太郎さんが友人の結婚式に着用するスーツを買いに行った際、その紳士服店で対応してくれたのが由紀さんだったそうです。

初めて興津に来た時は、不安もあったそうですが現在は2人の娘さんに恵まれ、技能実習生で来ている19歳のベトナム人の青年も息子のように可愛がられている由紀さん。

お二人は周年栽培のミョウガ作りが忙しい中、今作の仕事が落ち着いたら、お互いの趣味である中型バイクでのツーリングを楽しみにしているそうです。

仕事に趣味に充実した橋本ご夫妻。これからも、末永く幸せに！

高西
地区

から こんにちは
今月の気になる人

四万十地区より



地域の憩いの場『松葉食堂』

たい ゆみ
田井 由美さん (59)

地域になくてはならない食堂として昭和23年から営業している七里地区の松葉食堂で3代目としてお店を切り盛りしている田井由美さん。こだわりの出汁で仕上げたラーメンの味はもちろん、自家製チャーシューや自分で育てた野菜を使っていることも、人々をひきつける魅力の一つです。今年2月には装いも新たに外壁の色を塗り替えました。これからも、いっそう地域の憩いの場として、輝き続けてください。

大野見とトマトに癒されてます

こまつ しんすけ
小松 伸輔さん (43)

高知市出身の小松さん。前職場で大野見地区のミニトマト農家の町田真之介さんと出会い真之介さんの育てるミニトマトの味に感動！また大野見の自然に惹かれ、居住し、農業の道へ。

今後も町田さんを助けながら、より美味しいミニトマトを育てていきたい！と穏やかな表情の小松さん。毎日きめ細かなお世話を欠かさず、愛情いっぱい育てています。

現在は20アールのビニールハウスですが、さらに20アール建設中で、今後ますます収量を増やす予定。たくさんの方に美味しいミニトマトが届きますね！楽しみです！

大野見地区より



5 四万十地域

ジャガイモにトマトの実？



珍しい物を持ち込んでくださりありがとうございます

農家の方が「ジャガイモにトマトがなっちゃう！なんじゃこりゃ。」と農協に持ち込んでくださいました。調べてみると稀に実するというジャガイモの実でした。ジャガイモとトマトは同じナス科の植物のため、ジャガイモの実もトマトとそっくりで、ピンポン玉ぐらいの大きさまで育ち、熟すと黄色になります。実を割ってみると、全体に種がたくさん詰まっており、この種をまくと、ジャガイモが育ちます。見た目がトマトでも毒性の強い物質が含まれており、食用には向かないためご注意ください！

3 四万十地域

夏秋ピーマン出荷検討会を開催



目慣らしを行っています

6月11日、窪川野菜集出荷場で夏秋ピーマン部会が出荷検討会を開催しました。例年は全生産者での目慣らしを行います。新型コロナウイルスの影響もあり、新規栽培者から栽培3年目までの生産者に限定しての開催となりました。新規就農者の皆さんは、熱心に耳を傾け、積極的に分からないことは質問をし、初年度の栽培に全力で取り組んでいききたいと意気込んでいました。

6 津野山地域

更なる品質向上を目指して



一つ一つ規格を確認します

6月23日、津野山ミヨウガ部会は目慣らし会を開催しました。管内の全生産者が出席しミヨウガの規格別に色合いや花蕾の形状などを確認しました。ミヨウガの規格は色合いが大きなポイントであり、部会員同士で出荷品質に差が出ないよう細かなチェックが行われました。会には四万十地域の西井指導員も出席し地区間の連携を強めました。津野山地域は決して生産量の大きな産地ではないですが、一段と品質にこだわりの、他産地の見本となるような高品質ミヨウガの出荷に部会一丸となって取り組んでいきます。

4 津野山地域

低温乾燥椎茸
今年も出揃う！

10℃の低温倉庫で作業が行われます

6月9日、津野山営農経済センターでは日本きのこセンター・四国事務所の西本所長による低温乾燥椎茸の受入れ検査が行われました。今年は12名の生産者らが約1.5トンの低温乾燥椎茸を出荷し、前年並みの受入れ量となりました。検査では乾燥具合や色合い、形状などの確認が行われました。西本所長からは「乾燥具合は良好であり、品質も良い。一方で収穫遅れに注意して少しでも高い等級での出荷を目指してほしい」とアドバイスをいただきました。検査の終了した乾燥椎茸は更に規格・等級別に分けられた後、各消費地へ出荷されていきます。

Monthly Topics

できごとピックアップ

地区内のイベントや、地域農家の取り組みなどを紹介します！



ミヨウガを確認しながら選別しています

1 四万十地域

特産みょうが出荷最盛期
J A職員も応援に出動

6月中旬、高西地区四万十管内では、ミヨウガ出荷の最盛期を迎えました。出荷場での選別作業にJ A職員が応援に駆け付けました。四万十町興津地区では、海岸部の温暖な気象条件を生かし、ミヨウガの栽培が盛んな地区となっています。鮮やかな紅色が特徴で、「四万十みょうが」として京浜地区を中心に全国各地に出荷しています。高西地区では、3か所の出荷場でミヨウガの出荷を行っています。おり、従業員が日々選別・出荷作業を行っています。出荷の最盛期には、日ごろ出荷に関わらない信用共済含め全部署から職員が駆け付けパッキング作業や選果作業を行います。生産者とJ Aが一体となって特産ミヨウガの出荷に注力しています。

5月から7月にかけて出荷場では、ピーク時には50gパックで日量約100000パックのミヨウガを出荷しました。四万十管内では年間約700tのミヨウガを出荷しております。今後も地域一丸となって出荷に取り組んでいきます。



曲がり果やキズ果の程度を確かめます

2 津野山地域

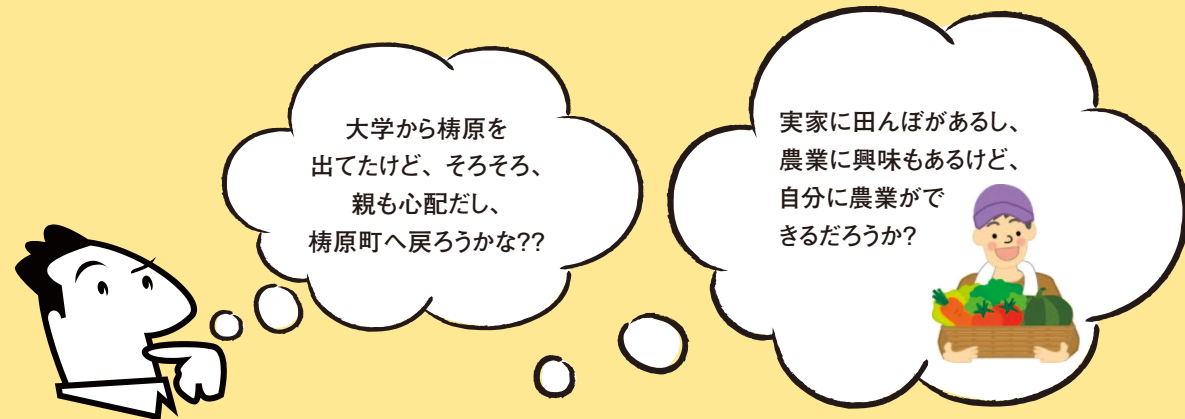
甘とう品質意識を高める！

6月9日、津野山土佐甘とう部会は出荷目慣らし会を開催しました。新型コロナウイルス対策をしっかりと行つた上で、実際の出荷物を確認しながら品質や規格を確かめました。津野山地域は県内でも土佐甘とうの歴史が長い地域であり、県内の他産地をけん引できるような品質面においても一段と力を入れていきたいと、部会員同士で品質チェックの申し合わせをしました。今年は初期の冷え込みや悪天候により序盤からの出荷量が鈍い状態でしたが、6月後半から7月にかけては回復の見込みであり、平年並みの出荷量となりそうです。梅雨明け以降には猛暑による「尻腐果」の発生が懸念されるため、目慣らし会に併せて尻腐果対策の灌水管理やカルシウム資材の活用を周知しました。今年度は新規栽培者も多く部会面積も拡大しているため、前年を超える出荷量に期待しながら部会の取組みを進めていきます。

津野山地域より

津野山地域（梶原町・津野町（旧東津野村））への Uターンを考えている方へ （就農に向けた支援策のご紹介）

★身近に、こんな方いらっしゃいませんか？



<農業に就くまでの支援体制について>

◆就農に関する個別相談

直接お会いしての面談のほか、オンラインによる面談なども対応可能です。JAまで、お気軽にお問い合わせください。

◆農業体験（梶原町・今年度は中止）

梶原町で栽培する品目の作業体験や生活支援策などについての説明

<今年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止>



◆各種支援策

① 農業の経営開始前（栽培技術の習得研修など）に関する支援

例：【国】農業次世代人材投資事業（準備型）【県】担い手支援事業

② 農業の経営開始後に関する支援

例：【国】農業次世代人材投資事業（経営開始型）

これまで、まったく農業の経験が無い方でも、栽培研修などに関する各種支援策を準備しています（ホームページ等で検索可能です）。また、支援策を活用する際には要件などあります。

<お問い合わせ先：津野山地域営農連絡協議会（輝く農業経営プロジェクトチーム）>

◆JA高知県高西地区津野山営農経済センター（氏原・井上）TEL：0889-62-2335

梶原町産業振興課（川村・宮岡）TEL.0889-65-1250

津野町産業課（池・石田）TEL.0889-55-2021

須崎農業振興センター農業改良普及課（横山・小澤）TEL.0889-42-3255



四万十地域より

「青色申告による確定申告」に 取り組みませんか

「青色申告」は、毎日の取引をきちんと記帳し、その記帳に基づいて正しく申告する方法のことをいい、税制上の数多くの特典があり、また、新しく導入された収入保険制度においても、青色申告を行っている事が加入条件とされております。令和4年から青色申告による確定申告に取り組む方を対象に下記の日程で青色申告の個別説明会を開催しますので、希望される方はご予約の上参加をお願い致します。

なお、当日は新型コロナウイルス感染症対策としてマスク着用の上、ご参加ください。



日 時：令和3年8月20日（金）午後1時30分より

場 所：JA高知県 四万十支所3階 大ホールにて

※新型コロナウイルス感染症対策のため人数制限を設けておりますので、希望される方については事前に下記へ連絡をお願い致します。

◎お問い合わせ先：JA高知県 四万十営農経済センター 営農指導課
担当 山脇（TEL.0880-22-5179）

皆さんからのご意見、ご感想、つぶやき、川柳、イラストなど、お便りを心待ちにしています！

みんなのひろば

俳句

霧の里句会

帰り来て庭になつかし額の花
会うたびに花持つ今日は額の花

武政 礼子

田の畦に白き紫陽花紅少し
押し車にすまし貌して青蛙

市川 和美

今昔の世に容れられぬ蠅を追ふ
烟隅のいとしきものや蛇莓

今橋 孝子

梅雨最中餌を求めて迷ひ猫
余り苗流れ水口ふさぎをり

田中 信子

手をひかれめぐり歩けばアマリリス
へたばりて座る目先の梅雨の鳩

竹内 春猪

食卓に子の丹精の夏野菜
紫陽花や行きなれし道華やぎぬ

津野 浩美

朝涼やお悔み言われ目に涙
かずかずの妻の思い出蛭舞ふ

西宮 正衛

田を植えて台地の水のつながりぬ
恙なく野良に汗かく果報かな

長谷部 延子

短歌

窪川短歌教室

マスターズ松山英樹優勝だ嬉しい嬉しい快拳達成

中内 佐登美

かんざしのやうな山吹根こそぎを揺らしゆきたりナナハンの列

黒岩 やよえ

農薬に滅びゆきしか赤トンボ五時のメロディー淋しくひびく

岩井 房子

コロナ禍に女孫授かる幸せを二女にもらいて涙腺崩壊

文野 見枝子

古本の「ひまわり」に杳き名をしのぶ淳一・紅路・村岡花子

市川 隆子

裏山のミミズクの声も淋しそうコロナ禍の終わりまだまだ見えず

島岡 紀美

鳴き声も色もみにくき鳥なれど雨の窓辺に動けば親し

市川 浩子

ヤングケアラーを初めて知りぬ家族を看つつ学校に通う子供のことと

北村 さちこ

INFORMATION

お知らせ



組合員並びに地域の皆様へ

「ふれあいプラザ」取組み中止のお知らせ

農協事業の3ヶ年計画における基盤強化対策の一環として興津支所、大野見支所、東津野支所の信用部門を「ふれあいプラザ」として再編する計画を進めておりましたが、経営収支等の見直しを行った結果、今後数年は現状のままで地区運営に影響を及ぼすことはないという結論となりました。それに伴い、計画しておりました支所機能の変更「ふれあいプラザ」は実施せず、現在のまま支所を存続し、今まで通りの運営をおこなう事となりました。皆様に大変なご心配とご迷惑をおかけいたしましたことを深くお詫び申し上げます。

今後ともJA高知県 高西地区をご愛顧賜りますようお願い申し上げます。

「宴会事業」廃止のお知らせ

四万十農協会館落成時より、地域の皆様にご利用を頂いてまいりました「宴会事業」は、新型コロナウイルスの影響等により、令和3年7月末をもちまして廃止とさせていただきます。長年にわたり皆様にご愛顧いただきしたこと心より感謝申し上げますとともに、廃止に伴いご迷惑をおかけすることにつきまして深くお詫び申し上げます。

今後も農協事業にご理解とご協力をいただきますよう宜しくお願い致します。